

会員会議概要

- 1、日時：平成21年3月1日（日） 13:30~15:00
- 2、場所：福祉会館 2階
- 3、参加者：20名（会員 15、事務局 5）
- 4、会議内容

(1) 代表挨拶 宇部地球温暖化対策ネットワーク代表 中西 弘

平成20年6月から今日までうべソーラー・マイレージ事業として、いろいろな活動を実施してきた。

しかし、太陽光発電設備の普及が、今ひとつ盛り上がらなかったのは制度の確定がなされなかったことだと思う。

これから、各省庁も二酸化炭素削減に向けた活動が活発かするため、太陽光発電の普及に期待が持てるものと思われる。



(2) グリーン電力売上の仕組みについて

宇部市地球温暖化対策ネットワーク事務局長 仰木 則康

グリーン電力とは化石燃料、原子力発電等を除く自然エネルギーからの電力で風力、太陽光、バイオマス、地熱等がある。

これらから発電された電力は、エネルギーとしての価値と環境価値を併せ持っており環境価値の部分を取り出して売することができる。

一般的な家庭での太陽光発電設置者は年間1万円程度のグリーン電力を販売することが可能である。

3月29日に開催される宇部マテエココンサートは宇部市で初のグリーン電力を利用したコンサートである。



(3) うべソーラー・マイレージクラブ及び全国地域協議会の集計結果報告

うべソーラー・マイレージクラブ事務局 清水 幹生

うべソーラー・マイレージクラブは平成20年6月にスタートし平成21年1月までに61,731Kgの二酸化炭素を削減しており削減目標値である22,529Kgを既に上回っている。会員の最大削減量は3,956Kg、最小は2,016Kgの増加となっている。

全会員の90%が二酸化炭素の削減に協力している。しかし、今年度の冬(11~1月)は72%と低い値を示している。これは冬の気温の低かったことを表している。



(4) うべソーラー・マイレージクラブ会員による省エネ報告

1) 刈谷 丈治

クラブ参加は二酸化炭素削減量を数値化できる。

冷房が嫌いで夏向きに家を建てたが冬に問題を残している。

省エネ対策として太陽熱温水器、壁の断熱等を実施している。



2) 松重 泰夫

太陽光発電設備は販売所に関係していた事と油及び電気の値上がりを予測して設置した。

省エネとして壁の断熱、ペアガラス、断熱塗装、トイレ等に自動スイッチ設置、家電は節電タイプを更新。

太陽光発電設備、売電契約書及び中電の受検証の紹介。



3) 原野 英雄

省エネ設備として太陽光発電設備 (H10年設置3.48KW)、太陽熱温水器、井戸水の利用、壁の断熱、ペアガラス、屋根の明り取り、GEO システム (地中熱利用換気)、TSS 汚水処理システム (無放流方式汚水処理) と多くの設備を紹介した。

結論として何らかの経済的メリットがなければ長期の活動は望めない。



(5) 全体懇談会及び質疑応答

- 1) グリーン電力価格の期間について?
(回答) 年単位
- 2) グリーン電力売買を宇部市温暖化対策ネットワークで対応しては?
(回答) 現在検討中
- 3) 11月～1月のマイレージが低い原因?
(回答) 暖房に灯油を使用した。(灯油の二酸化炭素換算値は 2.489Kg/l)



(6) 閉会挨拶

宇部市地球温暖化対策ネットワーク事務局長 仰木 則康

閉会の挨拶後、参加会員と記念撮影

